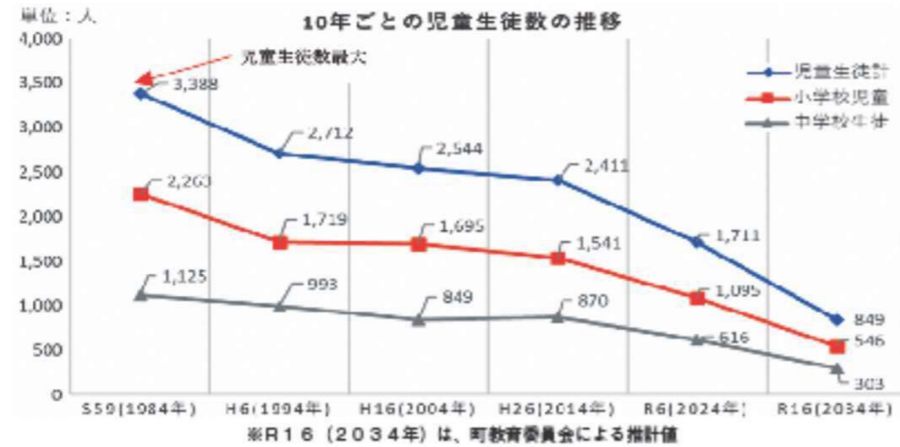


大野町小中学校のあり方コーナー

町では、子ども達にとって望ましく、将来に渡り持続可能な教育環境を構築するため、望ましい小中学校のあり方について令和3年度より検討を進めてきました。このコーナーでは、検討している内容や経過などについて、お知らせします。

(1) なぜ、町は小中学校のあり方を検討しているのか？



現在、日本では少子化が急速に進行しており、社会経済への様々な影響が懸念されています。当町においても少子化は例外ではなく、令和3年度の出生数は96人で、初めて100人を下回りました。令和4年度は75人、令和5年度は91人と出生数は低い状況が続いています。

また、出生数と軌を一にするように町内小中学校の児童生徒数も年々減少する見込みです。

一方で、社会は急速に変化しており、多様化・複雑化・不確実性を増しています。今の子ども達や、これから誕生する子ども達が成人して社会で活躍する頃には、日本は厳しい挑戦の時代を迎えているとも言われており、このような時代に社会の担い手となる子ども達に必要とされる資質や能力を身に付けさせることが学校教育に求められています。

大野町で育った子ども達一人ひとりが将来の社会や地域で活躍できる、新しい時代に対応できる資質や能力を身につけることができる学校教育の環境はどうあるべきなのか。それが、小中学校のあり方検討の出発点です。

(2) 「今ある空間が当たり前」を考える

現在、町内には小学校6校、中学校2校がありますが、最初から現在の形態であったものではありません。それぞれの時代の社会の変化や学校教育に必要とされるニーズなどに応じて変遷しながら現在にいたっています。

児童生徒数の減少、いじめ・不登校の増加、特別の配慮を要する児童生徒への対応など、現在の子ども達を取り巻く諸課題に「今ある空間が当たり前」という発想では社会の変化に追いつかず、将来とのギャップは深まるばかりです。子ども達の未来のためには、今ある学校が変わる必要があり、それは地域社会が意識や発想を変える必要があるということでもあります。

小中学校のあり方の検討については、行政や学校のみならず、保護者や地域の人が一緒に考え、多様な意見を反映させながら進めていきたいと思っています。

皆さんのご意見をお寄せください。⇒



問合せ先 学校教育課 ☎35-5378

広報おおの 7月号（6月28日発送分）

1

7月1日

| | | |
|---|-------|-------------|
| 小中学生の保護者 | 中小学校区 | 答申書の内容は知らない |
| <p>ホームページを少し拝見いたしました。ほとんどの保護者はこのホームページの存在を知らないと思います。また、どのように合併が進められているのかもわからないとおもいます。そのため、広報でお知らせしていただけるのはとてもうれしくおもいます。外部検討委員会のページに行けるQRコードがあるとさらによくなるとおもいます。</p> | | |

2

7月2日

| | | |
|--|-------|-------------|
| 小中学生の保護者 | 西小学校区 | 答申書の内容は知らない |
| <p>予定では下の子は1クラス1桁だと聞きました。そんなのかわいそすぎますね。あと、小学校を統合する予定があるなら、いつなってもいいようにすぐに全ての小学校のランドセルを統一するべきです！あと今の黄色のランドセル、上の紐をしめると全然入らないみたいですよ。本巢市は横型の黄色ランドセルを入学祝いで無料でプレゼントしてますよ！大野町もそうしてほしいです。</p> | | |

大野町小中学校のあり方コーナー

町では、子ども達にとって望ましく、将来に渡り持続可能な教育環境を構築するため、望ましい小中学校のあり方について令和3年度より検討を進めてきました。このコーナーでは、検討している内容や経過などについて、お知らせします。

答申「大野町小中学校の望ましい学校のあり方について」でなされた3つの提言

令和6年3月21日に大野町小中学校のあり方外部検討委員会より出された回答申では3つの提言をいただきましたが、その意図するところは、次のようなものです。

<提言Ⅰ> 「大野町の将来を展望した望ましい学校教育環境のあり方」を考えるにあたって、今一度、子どもたちにどのような力を身に付けさせる必要があるのかを学校のみならず、保護者、地域の方々々と熟議し共有すること

- ・学校は、子ども達や教職員、保護者、地域の人々から構成されるひとつの社会である。
- ・子ども達の5年後、10年後、20年後の姿を学校、保護者、地域の方々が共有し合い、同じ景色を描きつつ、全ての大人たちが「教育の当事者」としての自覚の中で向き合っていくことが重要である。

<提言Ⅱ> 長期的な視点では、現在の大野町立小中学校の学校再編（統廃合）を積極的に進めることが必要である

- ・子ども達が、集団の中で仲間と学び合うことで、思考力、判断力、表現力、問題解決能力等を育み、社会性や規範意識を身に付けることは、教育上極めて重要である。
- ・そのような教育を十分に行うためには、一定規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等について、バランスのとれた教職員配置がされていることが望ましい。

<提言Ⅲ> これまでの学校と地域の良好な関係性を踏まえつつ、それぞれがより広い視野でその関係性を見つめ直すこと

- ・地域の方々が積極的に学校の教育、子ども達の健やかな育ちに貢献して下さっている事実が多くあり、学校も「身近な地域」等を学ぶ授業を積極的に組み込んでいる。
- ・学校再編（統廃合）により、その地域に学校がなくなったときに現在の有益な学びをどのようにつなげ、活かしていくのかは重要な課題である。
- ・各地域（町民）においても、地域という枠組みを決して変えてはいけないうものとして考えるのではなく、より柔軟に地域そのものの枠組みを捉え直して見る必要がある。

提言Ⅱにおいて、小中学校の学校再編（統廃合）を積極的に進めることが必要であるとの提言をいただきましたので、今後、答申書の内容を反映させ、保護者や地域の方々のご意見もお聞きしながら、小中学校の再編（統廃合）に向けて基本方針・基本計画を策定していきます。

答申の全文や外部検討委員会の資料・議事録は町のホームページへ ⇒



皆さんのご意見をお寄せください。⇒



問合せ先 学校教育課 ☎35-5378

広報おの 8月号（7月26日発送分）

3

7月28日

| | | |
|---|--------|--------------|
| 乳幼児の保護者 | 大野小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| 私は少子化でいつか合併するんじゃないかと大野小、大野中、校区に家を建てました。大野小、大野中を残して全て統合すればいいんじゃないかと思います！ | | |

4

7月29日

| | | |
|---|-------|-------------|
| 乳幼児の保護者 | 西小学校区 | 答申書の内容は知らない |
| 北方町や瑞穂市も統廃合行ってるなかで、もっと田舎の大野町は対応が遅いと思います | | |

5

7月31日

| | | |
|---|-------|-------------|
| 小中学生の保護者 | 中小学校区 | 答申書の内容は知らない |
| 毎月、広報を拝読させていただいておりますが、いつも気になるのは町内人口のマイナスです。児童生徒数グラフも見ましたが私たちが小学生だった頃に比べ半分の人数であることに驚きが隠せません。さらに10年後は現在の半分となり、未恐ろしいです。人数がこれだけ減るとなると、小学校の統合も考えなければいけないと思います。中小学校と西小学校の統合。北小学校と大野小学校の統合など。 中学校においては、すでに部活動によっては存続できない部活もあるようです。とはいえ、統合するにも、通学するのに支障がないようにしてあげたいし。今の位置での中学校の統合は非常に難しいと思われまます。バス通学ができれば、解決できるかもしれませんが。 | | |

6

8月3日

| | | |
|--|-------|--------------|
| 18歳を超える町民 | 北小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| 外部検討委員会の答申そのものだと思います。行政はどのようにお考えか、それが知りたいです。今の子供たちの人数から考えても、統合したほうが良いと思います | | |

町に寄せられた意見一覧（8月号）

| | | |
|---|-------|--------------|
| 7 | 8月4日 | |
| 18歳を超える町民 | 北小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| <p>小学生2名、中学生1名の孫を持つ、北小校下に在住の75歳の者です。</p> <p>私たちが小学校の頃は、北小は無く、5クラスあった大野小学校へ、電車で通学していました。</p> <p>今、土地が安いにもかかわらず、大野町の建売住宅が減少している要因の一つは、親は自家用で通勤が可能であるにもかかわらず、子供達の学校への通学手段が乏しいことにあるかと思えます。</p> <p>私どもの時代は、名鉄谷汲線や揖斐線が存在し、通学の足となっていました。</p> <p>現在でも、大野町から大垣市や岐阜市の高校への通学は、かなり困難なものがあります。</p> <p>小中学の統廃合は、現在の新生児の数などから考えれば、近い将来、避けて通れない問題だとは認識しています。</p> <p>また、学校はある程度の規模がないと、より専門的な知識を持たれた先生の配置も困難だと思われます。</p> <p>これらの要件を踏まえると、小中学の統廃合を進めるに当たっては、小中校の規模の議論と並行して、自動運転バスなど、将来の交通手段も考慮した通学方法を、町内全体を俯瞰した上で構想し、進める必要があると思えます。</p> <p>他の市町村より快適な通学手段を提供することで、大野町の魅力を発信し、他市町村からの移住を増やし、人口の「社会増」を目指すことも、将来の新生児を増加させ、人口減少の歯止め策の一つになるとも考えられます。</p> | | |

| | | |
|---|-------|--------------|
| 8 | 8月4日 | |
| 小中学生の保護者 | 中小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| <p>いずれ統廃合するにしてもインフラの整備をお願いしたい。遠方からの登校する生徒に対する対応を今後どのようにしていくかご質問させていただきたい。</p> | | |

| | | |
|---|-------|--------------|
| 9 | 8月4日 | |
| 小中学生の保護者 | 北小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| <p>小学校の統廃合については基本的に賛成ですが、通学が負担になる事を懸念しています。</p> | | |

| | | |
|-------------------------------|-------|--------------|
| 10 | 8月11日 | |
| 乳幼児の保護者 | 北小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| <p>クラス替えができる人数になるようにしてほしい</p> | | |

| | | |
|---|--------|--------------|
| 11 | 8月25日 | |
| 乳幼児の保護者 | 大野小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| <p>小学校を統廃合することは賛成です。一定数の母集団を維持することは教育面で子供達に良い影響があると思います。1クラス20人を2クラス以上維持できるよう統廃合して欲しいと思います。</p> <p>校舎も古いものが増えてきており、耐震面や防災面で安全なものをこれから50年使えるよう新しく作り直す時期にきていると思います。また、地域の人や保護者が来校しやすいよう駐車場を整備して、参観や運動会を見据えた設計をして欲しいです。なぜなら、統廃合するということは必然的に自宅が遠くなり、保護者の徒歩や自転車での来校が今よりも難しくなるからです。また子供達の車での送迎も増えることでしょう。</p> <p>環境設備の整備は初めは費用がかかりますが、子供を育てやすい環境を提供することは少子化や他市町村からの定住を促す上で必要不可欠なものであると考えます。</p> <p>教育の充実は町の人口減少を緩やかにする対策としても疎かにしてはいけない部分でしょう。思い切って場所も町のど真ん中あたりに移転するというのもいいかもしれません。役場の西辺り広くて良いと思います。</p> <p>北方町で導入された小中一貫校も検討する価値があると思います。</p> <p>次に登下校についてです。遠い学童は送迎バスを出すことになると思いますが、昨今夏の暑さが尋常ではなく、下校時のみならず、登校時もすでに暑い日があり、小学生が40分も歩くと汗だくで脱水や熱中症の危険を感じています。また、途中で給水所やトイレもありません。校区内であっても1.2キロを超えた辺りからバス登校が出来るようにしてください。</p> <p>真夏の気温は何年上昇しているため、生徒たちの安全を考えた送迎が提案されることを切に希望します。</p> <p>中学生については自転車登校が認められるため、バスについては揖東中と統合する場合は必要だと思えます。家が遠い学生が増える点も踏まえ、終業時間が遅くならないよう配慮が必要だと思えます。時間割を見直し、早めに帰宅できるよう調整してください。</p> <p>まだ、統廃合は不透明な部分が多いので早めに全体像を町民に提示し、その後時間をかけてコンセンサスを得ていかないと中々進まないと思います。良い案が早めに提示されるよう期待しております。</p> | | |

大野町小中学校の
あり方コーナー

Vol.3

町では、子ども達にとって望ましく、将来に渡り持続可能な教育環境を構築するため、望ましい小中学校のあり方について令和3年度より検討を進めてきました。このコーナーでは、検討している内容や経過などについて、お知らせします。

前号で『大野町小中学校のあり方外部検討委員会』よりいただいた答申の内容についてお知らせしましたが、令和4年度と同検討委員会設置から答申にいたるまで、合計7回の会議が開催され、答申に向けての検討がなされましたので、その経過についてお知らせします。

(1)外部検討委員会の構成

構成：学識経験者、有識者、保護者代表、地域代表、学校代表、認定こども園代表
委員数：13人

(2)外部検討委員会の開催状況・内容等

○第1回（令和4年8月23日）

- ・小中学校のあり方についての諮問
- ・児童生徒数の現状と推計
- ・学校規模適正化についてのアンケート実施と内容

○第2回（令和5年2月24日）

- ・学校規模適正化についてのアンケート結果
- ・小中学校の維持管理経費
- ・小中学校施設の状況
- ・大野町の学校変遷

○第3回（令和5年6月29日）

- ・児童生徒数の推移・推計
- ・全体、令和5年度スケジュール
- ・子ども未来シンポジウム
- ・文部科学省主催 令和4年度「学校魅力化フォーラム」

○第4回（令和5年10月6日）

- ・文部科学省主催 令和5年度「学校魅力化フォーラム」
- ・意見交換
- ・学級数、児童生徒数の違いによるメリット、デメリット …等

○第5回（令和5年11月1日）

- ・児童生徒数の推計（令和59年度まで）
- ・意見交換
- ・学校再編の必要性や考慮すべき事項 …等

○第6回（令和6年2月9日）

- ・答申案の内容確認と修正

○第7回（令和6年3月21日）

- ・答申案の最終確認と決定
- ・教育長への答申

会議の資料や会議録は、町のホームページで公開しています。⇒



ご覧になった感想や意見など、どんなことでも迷わずこちらへ！⇒

皆様のご意見をお寄せください。



問合せ先 学校教育課 ☎ 35-5378

乳幼児の保護者

北小学校区

答申書の内容を知っている

今後子どもの人数が減っていくので、再編は必要だと思うが、少しでも若い世代が大野町に住めるように、農振除外の緩和などをしていかないと大野町に土地があって出戻りたい人たちでさえ戻れない町になってしまうと思います。揖東中校区は比較的新築の家を建てやすいと思うが、北の方の地域にも魅力を作ったり余っている土地を住みたい人のために活用できるようにしてほしいです。

自分の子どもは小学生の途中で再編の時期を迎えるので、慣れていくための段階的な措置があるとうれしいです。

また、教職員として他市町の学校の閉校、再編後の開校に関わる機会があり、「閉校、開校に携われることは誇りに思うべきことだ。」と教育長さんに言われたが、正直大変でハズレだと思ってしまいました。通常の業務だけでも忙しいのに、そこに改修に伴う部屋の荷物移動を何度も行い、備品管理や開校に向けての準備など職員作業が大幅に増え、長期休暇でも休みが取りづらかったり、放課後の時間がなくなったりしました。義務教育9年間のカリキュラムも開校に伴って時間をかけて作ったが、忙しすぎて担当以外は見ていないように感じました。立派なものを作ったとは思いますが、本当に必要なのかと作りながら思いました。

再編は必要なことだと思うが、普段と変わらない人数の教職員がこれだけのことを行うと、その時目の前にいる子どもたちが犠牲になっているように感じました。再編をする際に委託したり業務支援のスタッフを増やしたり、必要なことに絞ったらすなどの対応をしていただけると働きやすいと思います。また、働き方という面でも他市町村より働きやすくなると、大野町で働きたい人が増えてよいと思います。

大野町小中学校のあり方コーナー Vol.4

町では、子ども達にとって望ましく、将来に渡り持続可能な教育環境を構築するため、望ましい小中学校のあり方について令和3年度より検討を進めてきました。このコーナーでは、検討している内容や経過などについて、お知らせします。

タウンミーティング2024にて「大野町小中学校のあり方」について説明しました。

各地区で開催されたタウンミーティングにおいて大野町小中学校のあり方について説明させていただきました。

児童生徒数の減少の状況、3月にいただいた答申の内容、今年度から小中学校の再編に向けて取り組んでいる基本方針・基本計画の策定について説明しました。通学時の交通安全対策についての質問や児童生徒数が減少していくピンチをチャンスとしてとらえ、積極的に学校再編を進めて欲しいという意見等をいただきました。

小中学校の児童生徒数の比較（単位：人）

| 学校名 | 令和6年 (2024) | 令和16年 (2034) | 減少率 |
|-------|----------------|-----------------|-------|
| 大野小学校 | 303 | 98 | 68.3% |
| 北小学校 | 129 | 68 | 48.8% |
| 西小学校 | 134 | 68 | 50.7% |
| 中小学校 | 159 | 102 | 35.8% |
| 南小学校 | 142 | 90 | 36.6% |
| 東小学校 | 228 | 128 | 44.7% |
| 小学校計 | 1,095 | 548 | 50.1% |
| 大野中学校 | 485 | 205 | 58.9% |
| 揖東中学校 | 151 | 98 | 35.1% |
| 中学校計 | 616 | 303 | 50.8% |

※令和16年（2034）については教育委員会の推計値

小中学校のあり方についてのご意見、ありがとうございます。

このコーナーをご覧いただいた人からご意見をいただいておりますので、紹介させていただきます。（いただいたご意見の一部を抜粋して掲載しています。）

- 学校再編は、保護者や地域住民にとって関心のあることであり、良い方向に、希望の持てる方向に向かっていって欲しい。
- 将来、小学校の1クラスの児童数が1桁になってしまうのは、かわいそうだと思う。
- 他市町も学校の統廃合を行っているなかで、大野町も早く対応したほうが良いと思う。
- 児童生徒数が10年後に半減すると、小学校の統合も考えながら通学方法の検討も必要である。
- 統廃合を進めるにあたり、公共交通など町全体を見渡した町づくりを進める必要がある。

いただいたご意見は、今後も機会をとらえて紹介し、小中学校のあり方について皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、ぜひご意見をお寄せください。

会議の資料や会議録は、町のホームページで公開しています。



ご覧になった感想や意見など、お寄せください。



問合せ先 学校教育課 ☎ 35-5378

広報おの 11月号（10月25日発送分）

13

10月28日

| | | |
|---|-------|--------------|
| 18歳を超える町民 | 北小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| <p>おらが学校という気持ちも分かりますが、大野町全体がおらが学校という考えになることを望みます。7月8月9月に生まれた子どもは十名です。もう、待たなしの時期です、もう3年経ちました、最終の期日を決め、それに向けて計画実施することは不可能ですか？少子化は否めない現実です。今の子供達を町全体でどのように育てるのかを今から考えることも必要かもという気持ちです。</p> | | |

14

10月29日

| | | |
|--|-------|--------------|
| 乳幼児の保護者 | 西小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| <p>統廃合の予定があるなら、ランドセルを大野町全部の小学校で、黄色に揃えるべきでは。本巣市みたく無料配布してほしいです。今の黄色のランドセルは使いにくいと聞いたので改良してください。</p> | | |

15

11月1日

| | | |
|--|-------|--------------|
| 乳幼児の保護者 | 中小学校区 | 答申書の内容を知っている |
| <p>長年固定された集団より集団が変化する複数学級が本当に必要だと思います。大きな集団になる事で学びの環境は大きくなりますし子ども達の大切な学生生活が大きな財産になります。それに同じ大野町で同じ学年に産まれたのであればその出会いも大切にしたい。バラバラにならずみんなで成長して行ってほしいです。中学校だけでも大野中学校として1つの大きな学校にしてほしいです。</p> <p>小衣斐、相羽周辺は田んぼも多く大野町の中心で新校舎も可能だと思います。また役場からICにも繋がり学校の場所に最適だと思います。大野町を変えてください。</p> | | |

〇お試し体験 Q&A

Q 2カ月の子どもがいますが、利用できますか？
A はい、利用できます。ただし、0～6カ月のお子さんについては、親と一緒にいるサポートに限ります。

Q 出生～2歳未満が利用できると思いますが、きょうだいに利用することはできますか？
A はい、利用できます。12歳までのお子さんのサポートにも利用できます。

Q どうやって利用できますか？
A まずは、電話連絡のうえ、会員登録してください。（入会金、会費等は不要）利用日が決まりましたら、相談してください。お試し体験利用された後に、お支払いいただいた利用料金については、後日指定口座に振り込みます。

〇交流会開催のお知らせ

11月30日（土）午前10時から総合市民センターにて、交流会を行います。大型絵本の読みかせやコンサートなど、楽しい催しを準備してお待ちしています。皆さん、お誘い合わせのうえ、参加してください。

問合せ先 おのファミリー・サポート・センター（子育てはうすばすてる内） ☎34-1010

大野町小中学校のあり方コーナー Vol.5

町では、子ども達にとって望ましく、将来に渡り持続可能な教育環境を構築するため、望ましい小中学校のあり方について令和3年度より検討を進めてきました。このコーナーでは、検討している内容や経過などについて、お知らせします。

小中学校のあり方についてより多くの皆さんに考えていただけるよう、今回は趣向を変えて教育長によるコラムを掲載します。望ましい学校を考える上では多くの視点がありますが、視点のひとつとして参考にしてください。

おらが学校から未来の大野の学校へ

今年の3月21日に大野町小中学校のあり方外部検討委員会（原尚委員長）より町内小中学校の再編を積極的に進めることを提言する答申書をいただきました。現在、その答申を受けて基本方針・基本計画の策定に入っているところです。

子どもたちの「個」は、集団の中で鍛えられると言われます。その集団は、子どもたちの成長にとっては長年固定化された集団ではなく、変化に富んだ集団が望ましいそうです。この学校再編を進めるにあたっては、ずっと同じ集団が続く単学級ではなく、集団が変化する複数学級で活動する環境をつくることも検討しながら進めています。ある程度大きな集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力しあうことを通じて切磋琢磨していく学びの環境を提供することで、次のステージに進んだ時にたくましく生きる力を兼ね備えた大人になってくれることを期待するからです。

「おらが学校」がなくなるかもしれないという寂しさは、卒業生の皆様にはもちろんおありでしょう。しかし、未来の子どもたちのためには、現状にとらわれず新しい時代の学びを実現する教育環境を中心に据えることが重要で、今の少子化のピンチをチャンスに変える発想が必要です。

児童生徒の減少を保護者や地域が自分事として捉え、将来の創り手となる子どもたちの学びの場を一層になって考えていく、そして皆が合意形成を回りながら未来の「大野の学校づくり」を進めていく、そんなスタンスを持ち続けます。町民の皆さんにはぜひ「学校の主役は子どもたちである」ことをご理解いただき、子どもたちの現在と未来を中心に置いたご意見をいただきたいと思ひます。

未来の大野の子どもたちのために、町民の皆さんの願いのつまった日本一の学校をつくろうではありませんか。

会議の資料や会議録は、町のホームページで公開しています。



ご覧になった感想や意見など、お寄せください。



問合せ先 学校教育課 ☎35-5378